

令和7年度

第2回山梨県文学館協議会資料

令和8年3月11日（水）

山梨県立文学館

資料目次

【参考資料】

山梨県文学館協議会委員名簿	1
山梨県附属機関の設置に関する条例及び条例施行規則（抜粋）	2
組織図（文学館及び指定管理者）	6
山梨県立文学館の観覧者数の推移	8
観覧者数の目標と実績	10
文学館の利用者	11

【議事資料】

報告事項 文学館の事業について

・文学館学芸課、資料情報課関係	13
・指定管理者関係	29

文学館協議会委員名簿

任期：令和7年9月29日～令和9年9月28日

氏名	役職	出身分野(勤務先等)	
こいしかわ まさふみ 小石川 正文	元名古屋女子大学文学部教授、 元富士河口湖高校長、元文学館学芸幹	学識経験	(教育)
ふしみ あや 伏見 彩	甲府青年会議所専務理事	社会教育	(地域振興・商業)
にしだ はるか 西田 遙	NPO法人河原部社理事長	社会教育	(地域振興・NPO)
やざき しげお 矢崎 茂男	山梨文芸協会会長	学識経験	(文芸)
やまもと くみこ 山本 久美子	山梨日日新聞社論説委員会部長	学識経験	(報道)
こまざわ かつあき 駒沢 克昭	テレビ山梨取締役 報道制作局担当	学識経験	(報道)
みしば ただひろ 三柴 忠宏	日本放送協会甲府放送局 コンテンツセンター長	学識経験	(報道)
はせがわ ちあき 長谷川 千秋	山梨大学教育学部長	学識経験	(大学教育)
ほりぐち みちよ 堀口 美千代	山梨中央銀行金融資料館館長	学識経験	(民間博物館)
なかだ みちひろ 仲田 道弘	やまなし観光推進機構理事長	学識経験	(地域振興・観光)
すどう れいこ 須藤 令子	山梨県書店商業組合 理事	学識経験	(地域振興・書店)(有)朗月堂書店
いじま せいき 飯島 清樹	県高等学校長協会代表	学校教育	甲府第一高等学校
やまだ しげゆき 山田 茂之	県公立小中学校長会代表	学校教育	新紺屋小学校
つるた くみこ 鶴田 久美子	公募(在家庭)	家庭教育	文学館協力会会員
たかやま みゆあ 高山 珠逢	公募(大学生)	家庭教育	

○山梨県附属機関の設置に関する条例（抜粋）

（趣旨）

第一条 この条例は、法令又は他の条例に別に定めのあるものを除くほか、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第三百三十八条の四第三項に規定する附属機関に関し、必要な事項を定めるものとする。

（附属機関の設置及び担当事務）

第二条 執行機関の附属機関として、別表第一に掲げる機関を設置し、その担任する事務は、同表の担当事務欄に掲げるとおりとする。

2～4 略

（組織）

第四条 附属機関は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の定数欄に掲げる数の委員で組織する。

2 委員は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の要件欄に掲げる者のうちから、執行機関が任命し、又は委嘱する。

3 委員の任期は、別表第一、別表第二、別表第三及び別表第四の委員の任期欄に掲げるとおりとする。

（会長等）

第五条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、会長又は委員長（以下「会長」と総称する。）及び副会長又は副委員長（以下「副会長」と総称する。）を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によりこれを定める。

3 会長は、会務を総理し、附属機関を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

5 副会長が置かれていない附属機関にあつては、会長に事故があるときは、あらかじめ会長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第六条 附属機関の会議は、会長が招集し、会長が議長となる。

2 会議は、執行機関の規則で定める場合を除くほか、委員の二分の一以上が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部会等)

第七条 附属機関に、執行機関の規則で定めるところにより、部会又は小委員会を置くことができる。

(委任)

第九条 この条例に定めるもののほか、附属機関の担当事務、組織及び運営等に関し必要な事項は、執行機関の規則で定める。

別表第一(第二条、第四条関係)

一 知事の附属機関

附属機関	担当事務	委員の定数	委員の要件	委員の任期
山梨県文学館協議会	博物館法第二十三条第二項の規定による山梨県立文学館の運営に関する事項の調査審議及び意見の具申に関する事務	十五人以内	一 学校教育の関係者 二 社会教育の関係者 三 家庭教育の向上に資する活動を行う者 四 学識経験のある者	二年
山梨県立文学館専門委員会	山梨県立文学館における資料の収集、保存及び展示並びにその実施する事業に関する調査審議に関する事務	六人以内	一 学識経験のある者 二 優れた識見を有する者	二年

○山梨県附属機関の設置に関する条例施行規則（抜粋）

（趣旨）

第一条 この規則は、山梨県附属機関の設置に関する条例（昭和六十年山梨県条例第三号。以下「条例」という。）の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

（補欠の委員の任期）

第二条 委員に欠員を生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（会長等）

第四条 条例第五条第一項の規定により、附属機関（次に掲げる附属機関を除く。）に会長を、次に掲げる附属機関に委員長を置く。

一～十 略

※次に掲げる一～十の附属機関に文学館協議会は入っていないため、会長を置く。

2 条例第五条第一項の規定により副会長を置く附属機関及び当該附属機関に置かれる副会長の定数は、次の表のとおりとする。

※次の表に文学館協議会はないため、副会長は置かない。

（定足数の特例）

第五条 条例第六条第二項の規則で定める場合は、次の表の附属機関欄に掲げる附属機関の会議について、同表の定足数欄に掲げる数の委員が出席しなければ開くことができない場合とする。

附属機関	定足数
山梨県文学館協議会	<u>過半数</u>

（資料の提出等の要求）

第八条 附属機関は、その担任する事務を遂行するため必要があると認めるときは、関係行政機関の長に対して、資料の提出、意見の開陳、説明その他の必要な協力を求めることができる。

（意見の陳述）

第九条 関係行政機関の職員は、会長の許可を得て、附属機関の会議に出席し、審議事項に関して意見を述べることができる。

(庶務)

第十二条 附属機関の庶務は、別に定めるところにより、処理する。

(委任)

第十三条 この規則に定めるもののほか、附属機関の組織及び運営に関し必要な事項は、会長が当該附属機関に諮つて定める。

○博物館法（抜粋）

(博物館協議会)

第23条 公立博物館に、博物館協議会を置くことができる。

2 博物館協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関とする。

第24条 博物館協議会の委員は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会(地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和三十一年法律第百六十二号)第二十三条第一項の条例の定めるところにより地方公共団体の長が当該博物館の設置、管理及び廃止に関する事務を管理し、及び執行することとされている場合にあつては、当該地方公共団体の長)が、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の理事長がそれぞれ任命する。

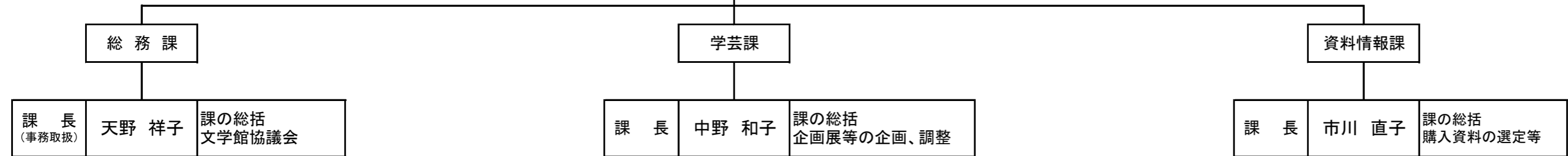
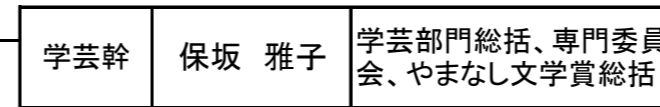
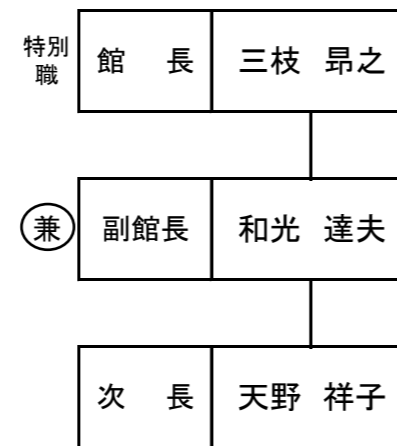
第25条 博物館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他博物館協議会に関し必要な事項は、地方公共団体の設置する博物館にあつては当該博物館を設置する地方公共団体の条例で、地方独立行政法人の設置する博物館にあつては当該地方独立行政法人の規程でそれぞれ定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

文学館組織図

令和7年10月1日現在

所属名	県立文学館			
正規職員	短時間再任用	特別職非常勤職員	会計年度任用職員	合計
10 (兼3)	1	1	8 (兼1)	20 (兼4)

※()は外数、協力会職員は数に含まず



学芸担当

職名	氏名	主たる業務
指導主幹	高室 有子	企画展・常設展の実施、やまなし文学賞
学芸員	伊藤 夏穂	特殊資料の整理公開、特設展・常設展の実施
会計年度任用職員	佐藤 明子	特殊資料の整理公開
会計年度任用職員	松井 あすか	業務補助
会計年度任用職員	成島 由季子	ボランティアの育成・指導等

教育普及担当

職名	氏名	主たる業務
副主幹リーダー	内藤 健	担当の総括 学校教育・生涯学習機関との連携・協力、教育普及事業
副主幹	遠藤 優綾	学校教育・生涯学習機関との連携協力、教育普及事業
会計年度任用職員	島内 知彦	教育普及事業事務補助

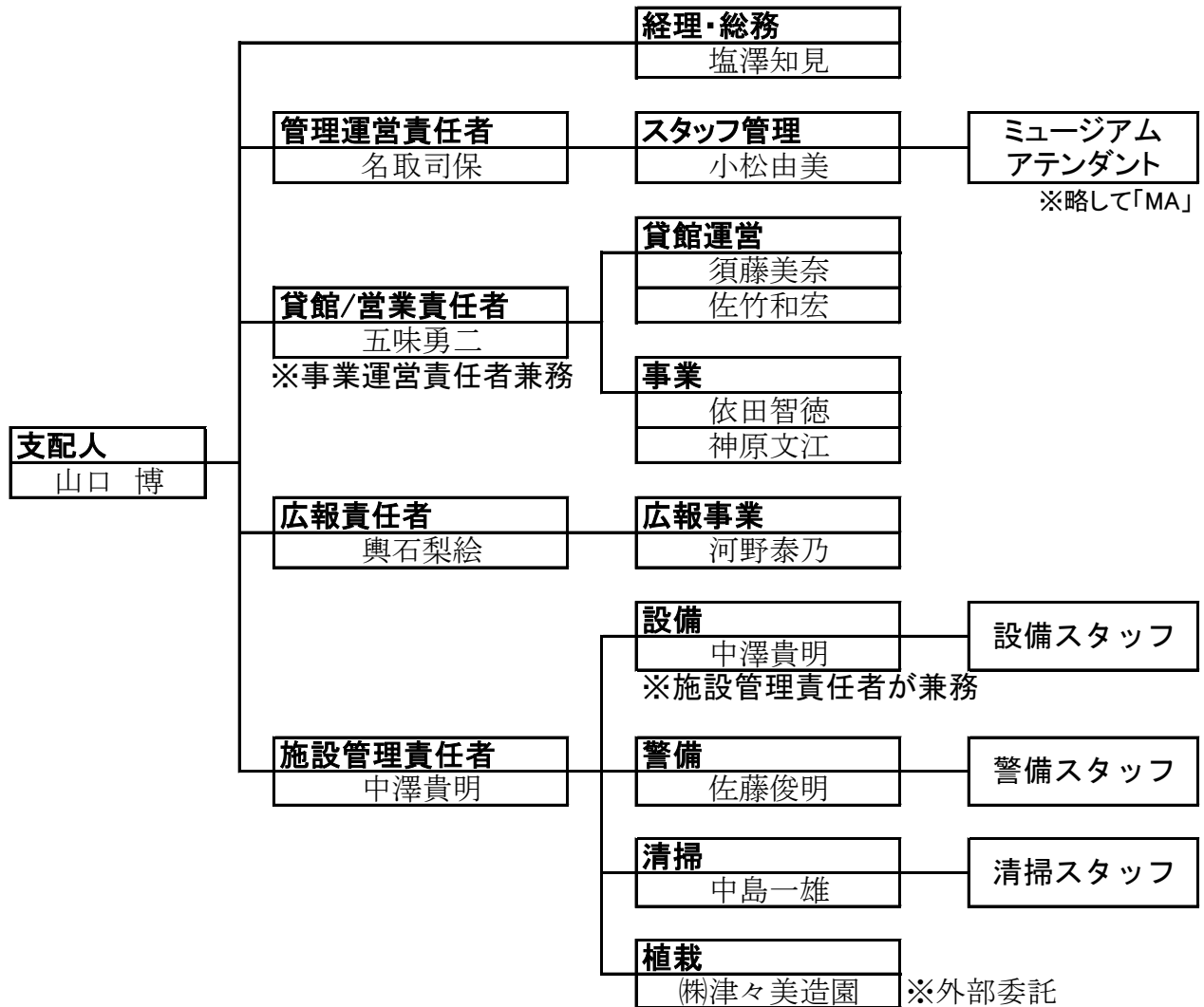
文学館協力会

職名	氏名	主たる業務
協力会職員	千國 ちふみ	協力会業務

職名	氏名	主たる業務
副主幹リーダー	小林 幸代	担当の総括 閲覧室の企画・運営
主査	長谷部 友子	文献検索システムの管理、逐次刊行物の受入・管理
短 専門員	水上 百合子	図書・視聴資料の整理・登録、レファレンス事例の公開
会計年度任用職員	内藤 るか	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	加藤 崇	資料等の整理 閲覧室カウンター業務
会計年度任用職員	有野 由莉香	資料等の整理 閲覧室カウンター業務

職名	氏名	主たる業務
兼 副主幹リーダー	武田 強	担当の総括 予算管理
兼 主任	笠井 愛	会計・経理 旅費・物品
兼 会計年度任用職員	小尾 祐子	職員給与等 共済組合、互助会
会計年度任用職員	窪坂 修	業務補助

※副館長及び総務課職員は美術館本務で文学館と兼務
※次長は文学館本務で美術館と兼務



文学館の観覧者数の推移

年度	開館日数	常設展	企画展	合計	特設展	新収蔵品展
H1	34	10,008	42,544	52,552	—	—
2	298	79,124	20,233	99,357	8,785	—
3	296	59,616	22,059	81,675	31,515	—
4	292	46,945	21,047	67,992	18,802	2,831
5	291	41,812	8,271	50,083	30,016	—
6	290	44,279	29,874	74,153	4,220	6,954
7	294	35,409	14,885	50,294	7,080	1,059
8	294	31,536	16,804	48,340	5,490	2,865
9	291	29,730	8,205	37,935	7,206	12,432
10	293	32,209	15,433	47,642	4,535	870
11	296	20,652	9,832	30,484	4,202	1,093
12	299	19,258	7,786	27,044	3,087	1,044
13	225	17,901	10,259	28,160	3,207	859
14	301	19,487	8,805	28,292	4,013	2,879
15	302	18,641	8,535	27,176	1,947	10,980
16	302	18,117	12,790	30,907	2,862	2,369
17	303	15,008	7,232	22,240	1,393	2,273
18	311	16,084	7,116	23,200	4,138	1,834
19	311	19,676	9,795	29,471	4,100	2,667
20	307	14,908	9,416	24,324	2,909	2,313
21	298	19,374	13,993	33,367	6,034	—
22	307	21,085	17,983	39,068	—	2,958
23	310	17,280	8,371	25,651	4,813	2,403
24	311	24,660	4,641	29,301	15,077	—
25	312	23,749	5,620	29,369	13,170	1,880
26	308	41,209	39,356	80,565	10,309	2,504
27	310	18,763	4,758	23,521	8,356	2,943
28	306	18,358	6,315	24,673	7,881	2,691
29	304	22,121	4,121	26,242	12,242	2,113
30	303	19,736	4,698	24,434	9,158	3,186
R1	274	22,538	11,466	34,004	10,488	1,163
R2	258	15,591	13,628	29,219	2,760	—
R3	273	13,548	5,599	19,147	3,714	1,979
R4	212	16,336	4,734	21,070	9,485	—
R5	279	21,300	20,704	42,004	7,569	2,950
R6	303	16,662	3,810	20,472	6,623	2,312
R7	254	16,152	7,207	23,359	6,145	48
計	10,552	938,862	467,925	1,406,787	283,331	84,452

R4年12月1日～R5年4月30日空調工
事の為臨時休館

4月1日～4月30日臨時休館

1月末までの実績

令和7年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	27	1,227	45
5	27	1,774	66
6	25	1,725	69
7	27	1,343	50
8	28	2,018	72
9	25	1,629	65
10	27	2,180	81
11	26	3,318	128
12	22	476	22
1	20	462	23
2			
3			
計	254	16,152	64

令和6年度常設展観覧者数

月	開館日数	観覧者数	1日平均
4	26	1,148	44
5	27	1,364	51
6	26	1,471	57
7	26	1,781	69
8	28	2,745	98
9	25	1,408	56
10	27	1,379	51
11	26	2,342	90
12	23	410	18
1	20	601	30
2	23	983	43
3	26	1,030	40
計	303	16,662	55

1月 まで	254	14,649	58
----------	-----	--------	----

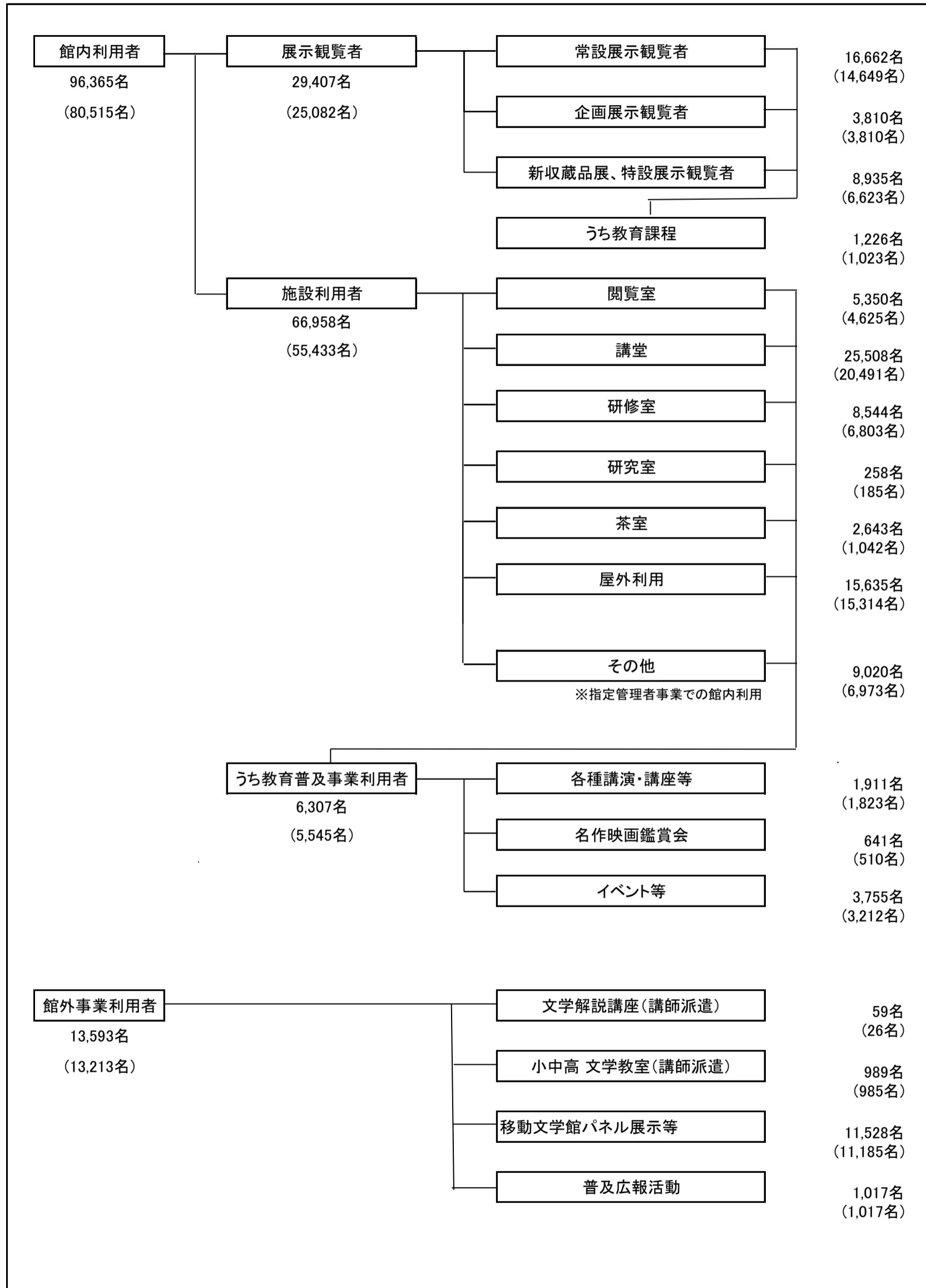
前年同期比 110.3%

観覧者数	展示種別・名称	目標	実績	達成率 %			
R7年度	常設展	18,900	16,152	85.5	1月末までの実績		
	企画展	ベストセラー誕生！「南総里見八犬伝」の世界		6,500		7,207	110.9
	特設展	時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年		3,700		3,449	93.2
		作家の絵ごころ		3,800		2,696	70.9
	新収蔵品展	2,400	48	2.0		【開催中】 1月末までの実績	
	合 計	35,300	29,552	83.7			
R6年度	常設展	18,000	16,662	92.6			
	企画展	金子兜太展 しかし日暮れをいそがない (開館35周年記念)		6,400	3,810	59.5	
	特設展	中村星湖展 生誕140年 歿後50年		3,500	2,758	78.8	
		文学はおいしい		4,200	3,865	92.0	
	新収蔵品展	1,800	2,312	128.4			
	合 計	33,900	29,407	86.7			
R5年度	常設展	17,500	21,300	121.7			
	企画展	ふしぎ駄菓子屋 銭天堂へようこそ		13,541	20,704	152.9	
	特設展	文豪の筆跡 館蔵の名品から		2,000	3,039	152.0	
		それぞれの源氏物語		5,000	4,530	90.6	
	新収蔵品展	1,959	2,950	150.6			
	合 計	40,000	52,523	131.3			
R4年度	常設展	14,500	16,336	112.7			
	企画展	樋口一葉展 生誕150年		6,900	4,737	68.7	
	特設展	芥川龍之介 生誕130年 旅の記憶展		4,000	5,287	132.2	
		文学雑誌からZINE(ジン)へ		3,700	4,198	113.5	
	新収蔵品展	-	-	-	(開催なし)		
	合 計	29,100	30,558	105.0			

●目標人数は、指定管理者の掲げる業務計画目標人数

文学館における「利用者」の状況

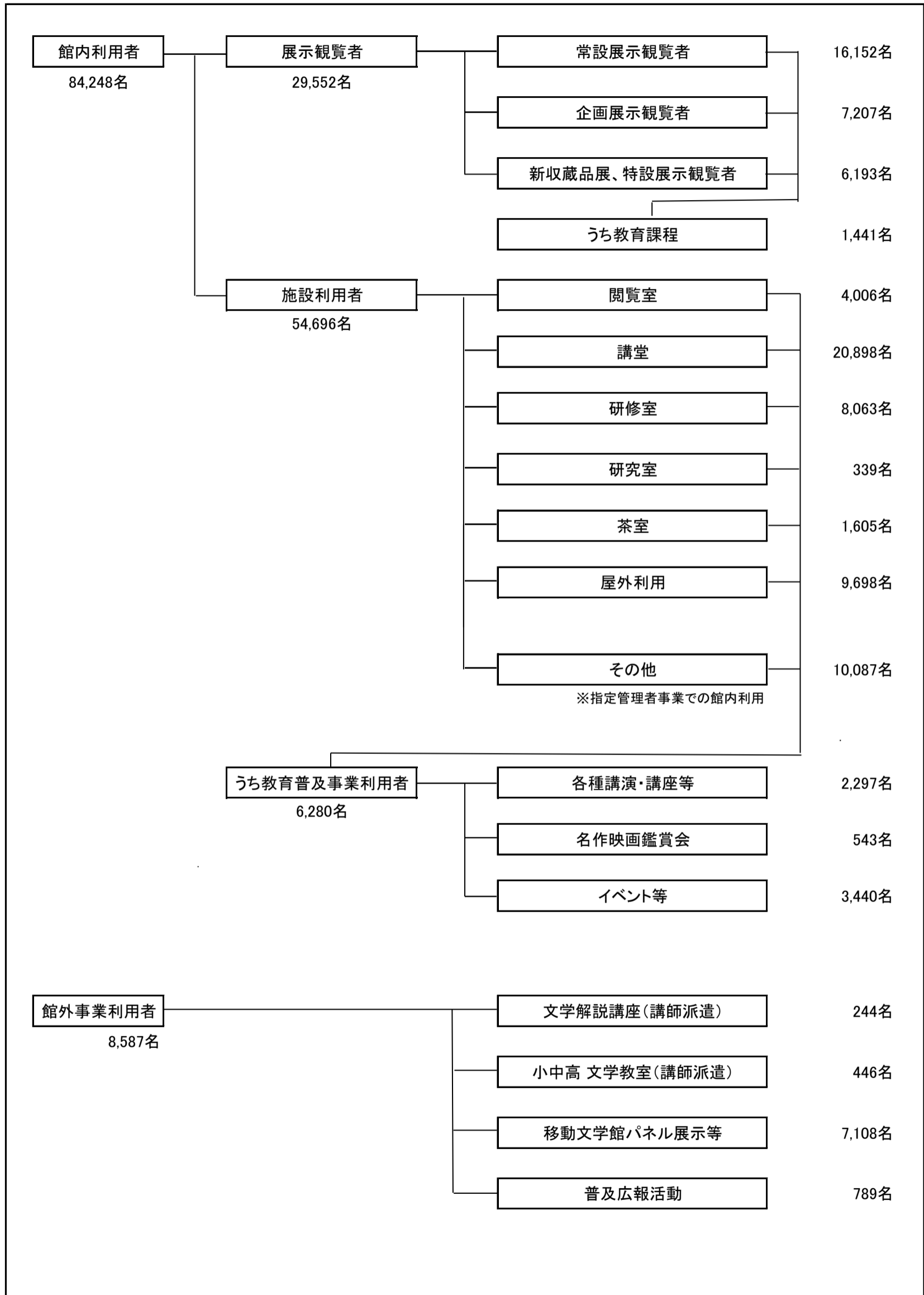
令和6年度実績 ()内は令和7年1月末時点



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館における「利用者」の状況

令和7年度実績（令和8年1月末現在）



○文学館の利用者とは、文学館の施設、提供するサービスを利用した者および文学館の事業・活動に参加したすべての対象者をいいます。

文学館活動目標

山梨県総合計画（第二次）では「文化施設において各館の特色を生かした展示などが行われるとともに、関連分野との連携により、豊かで活力ある地域社会が実現」することを目指すべき将来像に掲げています。そのため、次のとおり活動目標を掲げます。

【展示／見る】

魅力あるテーマによる「企画展」「特設展」の開催と、収蔵品を生かして山梨県出身・ゆかりの文学者を紹介する「常設展」の充実を図る。

【教育普及／学ぶ】

社会教育・学校教育と連携をはかり、文学に触れ、味わい、楽しみ、考えることのできる機会を提供する。

【資料情報／収集・保存・公開】

山梨県出身・ゆかりの作家、作品に関わる資料を中心に収集・保存していくと同時に、広く公開して活用を図る。

【付加価値・魅力／たのしむ】

文学館及び芸術の森公園に、さまざまな付加価値を充実させ、より魅力ある「憩いの場」の創造と提供を行い、文化観光の拠点をめざす。

令和7年度の事業報告

【展示/見る】

【特設展】「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」

会期：4月26日～6月22日



- ・辻邦生資料を所蔵する学習院大学史料館の全面的な協力により、2006年の企画展では、ほとんど展示されなかった直筆の原稿や手帳が多数展示された。

【展示/見る】

【特設展】「作家の絵ごころ 視覚で楽しむ文学展」

会期：7月12日～8月24日



本展で展示した夏目漱石画「鶯鳥を追う少女」模写、橋口五葉が装幀した漱石の単行本に合わせて県立美術館で関連作品を展示。

令和7年6月10日（火）～8月31日（日）

- ・ミレー 《鶯鳥を追う少女》…コレクション展A（ミレー館）
- ・橋口五葉 《夏衣の女》…コレクション展B（テーマ展示室）

【展示/見る】

【企画展】「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の世界」

会期：9月13日～11月24日



- ・曲亭馬琴が28年を費やして執筆した長篇小説「南総里見八犬伝」の世界を紹介
八犬士をはじめ、主な登場人物を二代目歌川国貞が描いた役者似顔の錦絵を多数展示う。
- ・甲斐国を舞台にした場面や甲府で絵草紙を販売していた様子などを、当時の資料により紹介

【展示/見る】

【新収蔵品展】

「創作の生まれるところ」 会期：令和8年1月31日～3月22日 〈開催中〉



令和7年に新たに収蔵した資料から、約70点を展示

飯田蛇笏軸装、村岡花子原稿、国文学者吉田精一旧蔵資料など



【展示/見る】

【常設展】

- 3月、6月、8月、12月の4回、一部の資料入れ替えを実施
第1室「期間限定公開」として次のテーマ展示を実施
春 飯田蛇笏 生誕140年
夏 戦後80年 文学者と疎開 井伏鱒二 太宰治
秋 戦後80年 文学者と疎開 金子光晴
冬 自由律の俳人・秋山秋紅蓼

- 夏と秋の常設展は、戦後80年をテーマとして、山梨に疎開した文学者を紹介

夏の常設展は、甲府に疎開し、ともに甲府空襲に遭った井伏鱒二と太宰治の資料を展示した。



【年間文学講座】

- 講座 1 (古典文学) 源氏物語の男たち 年8回
講座 2 (近代文学) 私の出会った作家たちー創作の現場に立ち会うー 年8回
講座 3 作家と作品 学芸員による 年4回



【特設展関連事業】

- 特設展「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」
関連公演会「琵琶と声明による 西行花伝 聲の帖」
- 特設展「作家の絵ごころ」 絵手紙づくりワークショップ



辻邦生の「西行花伝」を琵琶と声明により舞台化



絵手紙講師による指導で夏を感じる絵手紙に挑戦

【企画展関連事業】

■企画展「南総里見八犬伝の世界」

- 9月 消しゴムはんこワークショップ、担当学芸員の講座
- 10月 高橋源一郎氏（小説家）、服部仁氏（企画展編集員）、鈴木俊幸氏（企画展編集委員）の講演会を開催
- 11月 講談教室



企画展「南総里見八犬伝の世界」にちなみ、
犬の消しゴムはんこを作成



高橋源一郎講演会「長編小説家曲亭馬琴」

【教育普及/学ぶ】

【創作教室】

■短歌教室／小説創作教室

短歌教室は、高等学校文化連盟と共催、高校生参加枠を設け、一般社会人と一緒に受講する機会としている。小説創作教室では「甲斐人の一撃」事業として、25歳以下の参加枠で実施している。

【ZINE作り教室とZINEフェスティバル】

■創作と交流の場（令和3年度から実施）

- ワークショップ ……ZINEを制作
- フェスティバル ……展示と配布の場

個人や団体のほかに、県内の学校へ参加を呼びかけた。昨年度の県立大、都留文科大、笛吹高校、駿台甲府高校生に加え、令和7年度は、英和大学、サンテクノカレッジ等、出品参加が広がった。



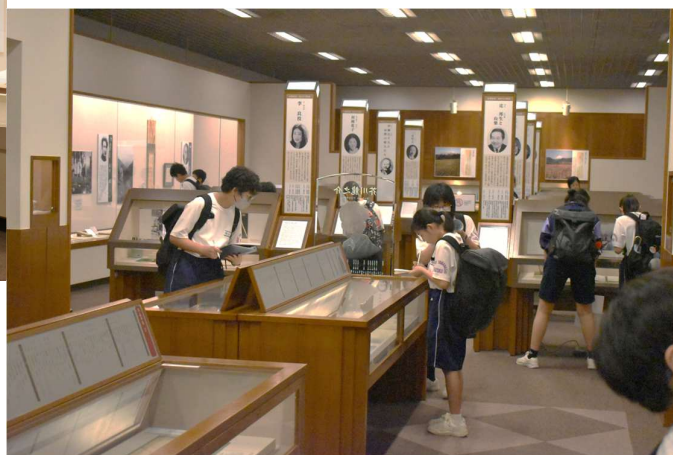
【教育普及/学ぶ】

【文学解説】 展示の解説

前年度に県内学校宛に、年館の事業、提供できるプログラムの情報、利用の仕方などをお知らせする。



クイズを解きながら、山梨の文学者について学ぶ。



【出前授業】アウトリーチ(移動文学館)

【教育普及/学ぶ】

- 職員による出前講座（随時実施）
- 「飯田蛇笏、龍太のちまちま人形セット」など計6種類を学校に貸し出し、文学者と作品世界を紹介



市川中で行った出前授業の様子



田富小学校の図書館前に設置された「ふしぎ駄菓子屋銭天堂へようこそ」のスタンディと解説パネル

【資料情報/収集・保存・公開】

【閲覧室の運営・事業】

- ・ 収蔵資料の閲覧、情報の提供、レファレンスサービス、複写サービス
- ・ 文献検索システムにより収蔵資料を管理し、資料情報は、文学館HPの「蔵書検索」ページで公開
- ・ 収蔵する図書・雑誌を手にとって閲覧出来る展示コーナーを随時設営
- ・ 閲覧室の事業を紹介する、閲覧室トークの実施

【資料情報/収集・保存・公開】



閲覧室資料紹介



閲覧室トーク

展示事業

2025（令和7）年度

<p>特設展 時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年</p>	<p>特設展 作家の絵ごころ 視覚で楽しむ文学展</p>	<p>企画展 ベストセラー誕生！ 「南総里見八犬伝」 の世界</p>	<p>新収蔵品展 創作の生まれるところ</p>
<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>自主企画</p>	<p>自主企画 観覧無料</p>
<p>R7年 4月26日（土） ～ 6月22日（日）</p>	<p>R7年 7月12日（土） ～ 8月24日（日）</p>	<p>R7年 9月13日（土） ～11月24日 （月・振休）</p>	<p>R8年 1月31日（土） ～ 3月22日（日）</p>
<p>51日間</p>	<p>39日間</p>	<p>63日間</p>	<p>43日間</p>
<p>3,449名</p>	<p>2,696名</p>	<p>7,207名</p>	<p>48名 （1月31日現在）</p>
<p>作家・辻邦生（1925～1999）の生涯と代表作を紹介した。辻邦生資料を所蔵する学習院大学史料館の全面的な協力により、原稿、創作ノート、書簡などの直筆資料、愛用品などを展示。 生誕100年のメモリアルイヤーにあわせて、ゆかりのある各地で行われる展覧会と連携を図った。</p>	<p>作家の中には、自ら好んで絵を描いたり、著書の装幀に自身の美意識を反映させるなど、美術に深く心を寄せる人がいた。夏目漱石、芥川龍之介など作家の描いた絵や、本や雑誌の装幀・挿絵の原画、作家と画家の交流を表す書簡など、文学と美術の豊かなコラボレーションの世界を紹介した。</p>	<p>江戸時代後期、曲亭馬琴が執筆した「南総里見八犬伝」は、全106冊に及ぶ長編小説で、時代を超えて多くの読者を獲得しベストセラーとなった。明治以降も多くの作家を刺激し、コミックや映画などにも登場した。現在も人々を魅了し続ける「八犬伝」の魅力を紹介した。</p>	<p>令和7年に新たに収蔵した資料より、樋口一葉・飯田蛇笏・芥川龍之介・村岡花子・山本周五郎・山崎方代・飯田龍太などの、原稿や手紙、書画などを展示。直筆の資料から作品が生み出されるところを想像してもらい、親しみやすい表示や表現により、気軽に観覧してもらえるよう文学資料を紹介した。</p>
			
<p>辻邦生 「银杏散りやまず」 第1回原稿</p>	<p>芥川龍之介 風景画 1909（明治42）年</p>	<p>二代目歌川国貞 「八犬傳犬の草紙の内 犬塚信乃戌孝」 個人蔵</p>	<p>飯田蛇笏 「後山の月甕のごとしは つ昔」 軸装</p>

令和7年度 教育普及事業の実施状況と今後の予定(1月末現在)

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
年間文学講座	講座1 源氏物語の男たち 講師：池田 尚隆 (山梨大学名誉教授)	①桐壺帝	5月10日(土)	講堂	77人	586人
		②左大臣・右大臣	6月21日(土)		81人	
		③按察大納言・明石の入道	7月12日(土)		81人	
		④頭中将	8月23日(土)		74人	
		⑤朱雀院	9月20日(土)		73人	
		⑥冷泉院	10月11日(土)		65人	
		⑦光源氏その一	11月22日(土)		67人	
		⑧光源氏その二	12月6日(土)		68人	
	講座2 私の出会った作家たち —創作の現場に立ち会 う— 講師：前田 速夫 (文芸雑誌「新潮」元 編集長)	①辻邦生と北杜夫 作家の友情 —旧制高校生の教養	5月29日(木)	研修室 ・講堂	79人	425人
		②瀬戸内寂聴と田辺聖子 人気作家の条件—読者を大切にする	6月19日(木)		59人	
		③川端康成と三島由紀夫 往復書簡から—自死に至るまで	7月24日(木)		76人	
		④大岡昇平と武田泰淳 富士山麓の二人—大家の晩年	8月28日(木)		41人	
		⑤島尾敏雄と島尾ミホ 『死の棘日記』をめぐって —夫婦の壮絶な死闘	9月25日(木)		55人	
		⑥吉田知子と村田喜代子 異世界への扉—地方作家の底力	10月16日(木)		27人	
		⑦車谷長吉と平野啓一郎 作家デビューまで —無名の新人の 担当編集者として並走して	11月6日(木)		39人	
		⑧津島佑子と小川洋子 世界に通じる普遍性 —国内外で高まる評価	12月18日(木)		49人	
	講座3 講師：当館学芸員	①辻邦生作品の魅力 —「銀杏散りやまず」、 「西行花伝」を中心に 講師：中野和子	5月18日(日)	研修室	77人	179人
		②戦後80年 甲運村に疎開した井伏鱒二 講師：保坂雅子	6月22日(日)		30人	
		③特設展「作家の絵ごころ」 展示資料の見どころ 講師：伊藤夏穂	7月27日(日)		29人	
		④「南総里見八犬伝」 展示の見どころ 講師：高室有子	9月14日(日)		43人	

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
特設展・企画展 業 関連事業		教師のための学習会	5月15日(木)	特設展	8人	968人
	「時空を旅する作家 辻邦生展 生誕100年」	公演会 「琵琶と声明による 西行花伝 聲の帖」 構成・演出：茂手木潔子 (上越大学名誉教授)	6月8日(日)	講堂	416人	
	「作家の絵どころ 視覚で楽しむ文学展」 関連事業	ワークショップ「絵手紙づくり」 講師：垣中絵美子	8月3日(日)	茶室	16人	
特設展・企画展 業 関連事業	「ベストセラー誕生！ 『南総里見八犬伝』の 世界」展 関連事業	講演会 「長編小説家曲亭馬琴」 講師：高橋源一郎 (小説家・文芸評論家)	10月5日(日)	講堂	268人	
		講演会「『南総里見八犬伝』の構成と趣向」 講師：服部仁(同朋大学名誉教授)	10月13日 (月・祝)		117人	
		講演会 「江戸時代 甲州の本屋と書籍文化」 講師：鈴木俊幸(中央大学教授)	10月25日(土)		91人	
			ワークショップ「消しゴムはんこ」 講師：アオヤギルミ	9月21日(日)	研修室	22人
			教師のための学習会	10月15日(水)	企画展	13人
			ワークショップ「講談教室」 講師：三龍亭千公 (伝統話芸集団 「南房総三龍亭」代表) 三龍亭夢学(同 副代表)	11月1日(土)	研修室	17人
名作 鑑賞 映画 会	一般向け	「パリの恋人」	5月24日(土)	講堂	179人	543人
	子ども向け	「エクレール・お菓子放浪記」	8月2日(土)		163人	
	一般向け	「ビルマの竖琴」	9月27日(土)		201人	
	一般向け	「破戒」	2月21日(土)			
文学 創作 教室	小さな本(ZINE)作り教室	講師：吉田朝麻	7月19日(土)	研修室	29人	123人
	初心者短歌教室	講師：三枝浩樹	6月14日(土)		19人	
			7月5日(土)		17人	
	小説創作教室 未来の小説家たちへ	①講師：川上健一	8月9日(土)		14人	
			②講師：川上健一		10月4日(土)	
短歌教室	講師：三枝浩樹	12月13日(土)	36人			
シ ョ ウ ク プ	朗読教室	原きよ 朗読教室 ～声に乗せて味わう児童文学～ 講師：原きよ	2月8日(日)	研修室	17人	
出 前 講 座	山梨の文学解説講座	山梨文化協力連合会	2回		244人	690人
	小中高文学教室	県内小中高高等学校	11回		446人	

分類	事業名	内容	開催日等	会場	参加人数	合計
文学解説	展示解説 (一般向け)	葦崎大草公民館	3回	常設展 特設展 企画展	71人	1,309人
	展示解説 (小中高大学生向け)	学生への展示解説	25回		1,238人	
チャレンジクイズ	特設展	「辻邦生展」	4月26日- 6月22日	特設展	704人	3,105人
		「作家の絵ごころ展」	7月12日- 8月24日	特設展	209人	
	企画展	「南総里見八犬伝の世界展」	9月13日- 11月24日	企画展	423人	
	チャレンジ文学館 (わたしはだあれ?)	小中高一般	通年	常設展	1,309人	
	文学の柱クイズ	小中高一般	通年	芸術の 森公園	460人	
実習受入	ジュニアインターンシッ プ・インターシップ	中高生10人、大学生3人	7月(3日間) 8月(1日間)		13人	37人
	博物館実習	学芸員資格取得単位の 実習(4人×6日)	7月17日- 23日		24人	
その他	アウトリーチ (移動文学館)	小中高 16校	通年		7,108人	8,177人
	ZINEフェスティバル	各種ZINEの展示、交流会	7月20日(日)	研修室	256人	
	博学連携広報活動	校長会・国語部会での普及事業説明など	通年		778人	
	やまなし文学賞関係	運営委員会	5月、1月	研修室	24人	
	教育センター共催研修	閲覧室・展示室見学	7月23日(水)	研修室	11人	

令和7年度 閲覧室事業実施状況

◆ 閲覧室資料紹介

	展 示 名	展 示 期 間	備 考
1	辻邦生を読む	令和7年4月25日(金)～6月22日(日)	特設展「辻邦生展」関連
2	装幀を楽しむ	令和7年7月11日(金)～8月24日(日)	特設展「作家の絵ごころ」関連
3	どうぶつとぶんがく	令和7年9月12日(金)～11月24日(月・振休)	企画展「『南総里見八犬伝の』の世界」関連
4	没後50年 檀一雄の世界	令和8年1月2日(金)～3月22日(日)	

◆ 昭和100年記念資料紹介

	展 示 名	展 示 期 間	備 考
1	戦後80年 戦争と文学	令和7年8月27日(水)～9月10日(水)	令和7年が昭和100年の節目に当たるのに合わせ、テーマに沿った昭和の文学作品を紹介
2	芥川賞・直木賞でふりかえる 昭和の文学	令和7年11月27日(木)～12月25日(木)	
3	雑誌に見る昭和の文学	令和8年3月25日(水)～4月22日(水)	

◆ その他の資料紹介

	展 示 名	展 示 期 間	備 考
1	七夕と星の展示	令和7年6月25日(水)～7月9日(水)	
2	井伏鱒二・太宰治と戦争	令和7年8月6日(水)～15日(金)	ミニ資料紹介・戦後80年
3	県人著作コーナー	通年(4期に分けて入替え)	

◆ 閲覧室トーク

閲覧室の利用方法やサービス、特色ある所蔵資料などを30分程度で紹介。

- | | | |
|-----|----------------|--------|
| 第1回 | 5月4日(日・祝) | 参加者 4名 |
| 第2回 | 7月13日(日) | 参加者 4名 |
| 第3回 | 8月10日(日) | 参加者 6名 |
| 第4回 | 11月20日(木・県民の日) | 参加者 9名 |

◆ 利用案内リーフレット

閲覧室の利用促進のため、閲覧室のサービスや利用方法を紹介する利用案内リーフレットを作成し、利用者に配布。

【閲覧室利用統計】

閲覧室利用状況(内訳)

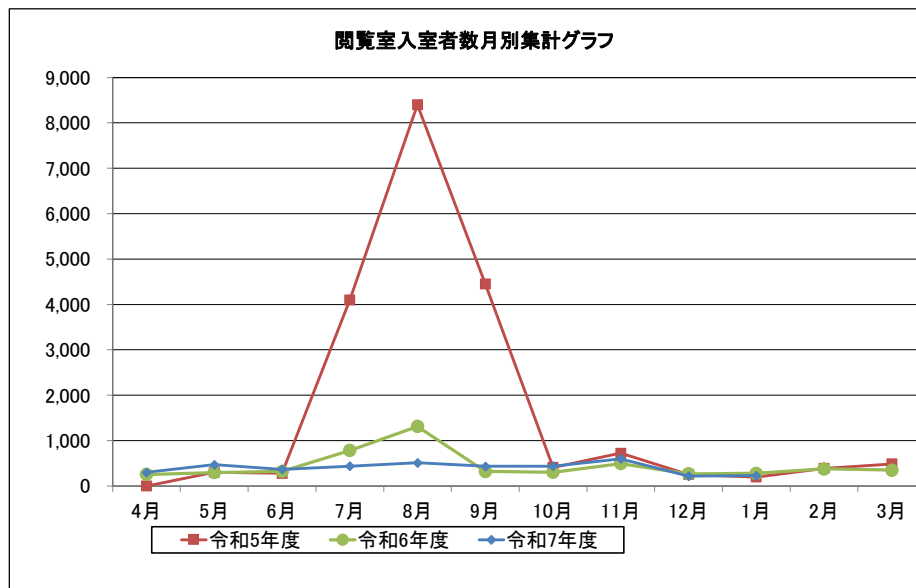
(R8.1.31現在)

	開館日数	入室者数	閲覧カード発行数	閲覧者数	閲覧冊数	調査相談件数	電子式複写枚数	マイクロ複写枚数	画像検索回数	資料紹介冊数
令和5年度	281	19,992	54	255	961	782	2,038	159	815	731
令和6年度	303	5,350	56	264	781	518	1,884	20	782	560
令和7年度	254	4,006	47	229	1,462	322	1,471	26	635	537

閲覧室入室者(月別)

単位:人 (R8.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均入室者数
令和5年度	0	302	277	4,101	8,404	4,453	407	721	255	198	389	485	19,992	71
令和6年度	253	295	319	784	1,316	320	302	492	266	278	378	347	5,350	18
令和7年度	299	468	368	438	512	435	436	599	222	229			4,006	16



調査相談(口頭・電話・手紙・FAX・メール)(月別)

単位:件 (R8.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均件数
令和5年度	29	73	66	69	103	74	59	114	47	56	41	51	782	2.8
令和6年度	38	54	45	46	52	39	37	37	44	30	57	39	518	2.8
令和7年度	39	35	36	24	44	14	36	41	21	32			322	2.8

複写枚数(電子式・マイクロ)(月別)

単位:枚 (R8.1.31現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	1日平均枚数
令和5年度	3	153	378	38	221	161	316	333	213	193	107	81	2,197	7.8
令和6年度	13	357	162	81	160	263	124	11	161	176	277	119	1,904	6.3
令和7年度	16	53	142	226	381	214	163	42	137	123			1,497	5.9

展示事業

2026（令和8）年度

<p>特設展 昭和文学をふり返る — 収蔵資料より</p>	<p>企画展 日本中の子どもたちを 笑顔にした絵本作家 かがくいひろしの世界展</p>	<p>特設展 模型と写真で再現する 樋口一葉の世界 (仮題)</p>
<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>	<p>巡回展</p>	<p>自主企画 常設展の一環として開催</p>
<p>令和8年 4月25日(土) ～ 6月14日(日)</p>	<p>令和8年 7月 4日(土) ～ 9月23日(水・祝)</p>	<p>令和8年10月10日(土) ～12月13日(日)</p>
<p>45日間</p>	<p>72日間</p>	<p>56日間</p>
<p>今年、2026年は、昭和元年（1926）から100年を数える。戦争をはさんで大きな時代の変化とともに生み出された昭和の文学を、芥川龍之介、井伏鱒二、太宰治、檀一雄、武田泰淳、山本周五郎、津島佑子、李良枝などの収蔵資料を中心にふり返る。</p>	<p>累計1,000万部を突破した絵本「だるまさん」シリーズの作者かがくいひろしは、特別支援学校の教員として長年勤務し、50歳で絵本作家としてデビューした。障がいのある子どもたちと向き合い、ともに過ごした経験は、珠玉の絵本の数々を生み出した。本展では、原画やアニメーションで絵本の世界を楽しんでいたかとともに、かがくいひろしがアイデアを書き留めたノート、教員時代に手がけた教材などから創作の原点に迫る。</p>	<p>檜細工師三浦宏氏が制作した一葉の小説「にごりえ」の舞台となる銘酒屋・菊乃井や「大つごもり」の山村家、終の棲家となった丸山福山町の家の模型を、模型の内部や外観を針穴写真家田所美恵子氏が撮影したモノクロ写真とともに展示。明治の暮らしの息づかいを感じながら、一葉作品の世界を味わうことのできる展示とする。</p>
		
<p>井伏鱒二 「太宰君」原稿</p>	<p>©Hiroshi Kagakui</p>	<p>三浦宏作 銘酒屋・菊の井</p>

令和8年度実施予定教育普及事業の予定(概要)

事業名	事業説明
年間文学講座1～3	講座1・2は各8回。講座3は年4回実施する。 講座1 古典文学 講座2 近代文学（現在調整中） 講座3 当館学芸員担当 テーマは参加者へのアンケートを参考に設定する。
特設展・企画展関連講演会	特設展や企画展をより深く理解していただくために、テーマにあわせて講師を依頼、講演会を行う。
名作映画鑑賞会	文学作品を原作とした作品を中心に選定。文学に興味をもってもらう足がかりとする。一般向けと子供向け映画と併せて3～4本を予定。 上映作品の選定は、アンケートを参考に選定する。
文学創作教室	実作者を講師に迎えて実施。創作に興味関心がある人がヒントをつかむきっかけとする。短歌、小説、ZINE(小さな本)作りなどを実施予定。 令和8年度は7年度に引き続き、若年層を対象とした教室を予定。
ワークショップ	モノ作りなど参加型・体験型の教室を通して、文学への興味を高める機会とする。子どもを対象としたワークショップは、開催中の特設展・企画展の内容につなげていく。
朗読公演会	演劇や音楽、朗読の要素を取り入れ、特設展や企画展に関連した内容で実施する。
出前講座	学芸課の職員が学校や公民館など公共施設などに出向き、学習ニーズに応じた講座を行う。児童向けの百人一首教室や、一般を対象とした山梨ゆかりの文学者についての講義など、対象・テーマとも様々な要望に応じる。
文学解説	教育課程(校外学習)で来館した学校や、一般の団体向けに展示についての解説を行っていく。
チャレンジクイズ	常設展や特設展・企画展を観覧しながら問いに答えていく。 問いでは平易な言葉や読み方に配慮し、見どころを示唆することによって、児童・生徒が展示を観覧する際の手がかりを提示する。大人の参加者も多い。
就業体験(インターンシップ)	中・高校生、大学生の希望者を受け入れ、若年層の職業意識形成支援に取り組む。子どもたちの社会的・職業的自立に必要な能力や態度を育てるためのカリキュラムとし、来館者対応や資料整理など、実際の業務を体験する。
ZINEフェスティバル	小さな本(ZINE)作り教室で制作した作品をはじめ、全国から集めたZINEを、閲覧、配布し、作り手と読者が交流する場を設ける。県内の高校生、大学生も作り手として参加している。
博学連携事業	移動文学館(アウトリーチ)・・・ 宮沢賢治や飯田蛇笏など全6セットの教材の貸し出しを行う。 教育センター共催研修・・・ 教育センターの教員研修として実施する。 文学館の教育利用の説明や展示の解説を行う。 教師のための学習会・・・ 年2回実施予定。学芸員が展示に関する説明をし授業に生かしてもらう。

令和7年度 下半期

文学館協議会

山梨県立美術館・文学館・芸術の森公園指定管理者
芸術の森みらいデザイン

令和8年3月11日(水)

◆目次

- ・ 令和7年度の指定管理事業
 広報活動／事業／サービス向上
- ・ 令和8年度の指定管理事業

1. 広報活動(令和7年度 11月-1月)

文学館観覧者実績

	年間目標	4-1月実績	目標比
常設展	18,900	16,152	85%
特設展・企画展	16,400	13,400	82%
新収蔵品展			
観覧者数合計	35,300	29,552	84%

展覧会名	会期	目標	実績	目標比
辻邦生展	4/26~6/22	3,700	3,449	93%
作家の絵ごころ	7/12~8/24	3,800	2,696	71%
南総里見八犬伝の世界	9/13~11/24	6,500	7,207	111%
新収蔵品展 ※開催中、1月までの実績	1/31~3/22	2,400	48	2%
観覧者数合計		16,400	13,400	82%

企画展 南総里見八犬伝の世界



広報ふえふき9月号

・日経全国版への記事掲載を獲得。掲載日のホームページの表示回数が1,283回(前週比453%)となるなど即効性のある反応を得た。

・八犬伝に地名が登場する笛吹市と初の観覧券プレゼント企画を実施。当館からの提案によって実現し、市の広報誌には、美術館とともに3/4ページの大きさを掲載いただいた。

新収蔵品展 創作の生まれるところ



Instagram

・観覧無料であることを生かすため、文学館を訪れるきっかけづくりとして、季節イベント(雛飾り)を開催し、相乗効果による来館者の獲得を狙った。

・Instagramでは、敷居が高いと思われるがちな文学館の楽しみ方として、文学館っておもしろい!と提供いただけるようなポイントを動画で紹介。

3

2. 事業報告(令和7年度 11月-1月)

山梨県立文学館presents スゴろくHAPPY CHRISTMAS & クリスマスミニマーケット(12/13)

目的: 文学館講堂での音楽利用が可能であることの認知度を高め、貸館利用促進につなげるとともに、これまで文学館の利用機会のなかったファミリー層などの来館のきっかけづくりとし、新たな客層を開拓する。

ターゲット: ファミリーを中心に、これまで文学館を利用したことのない層

来場者数

目標	実績	達成率	備考
360	433	120%	ミニマーケットの参加者は375名



県内の人気情報番組出演者が総出演

絵本の朗読に合わせた生演奏によるクリスマスコンサート。ファミリーを中心とした新規客層の開拓も狙い。

クリスマスミニマーケットは、6店舗中4店舗が完売

文学館を中心とした賑わいを創出。県が推進するパブリックスペースの有効活用を実現。

4

2.事業報告(令和7年度 11月-1月)

ミュゼマルシェ2025(12/20・21)

コンセプト:山梨の文化の発信地である山梨県立美術館&文学館で、
山梨のクリエイター文化を発信するイベント

目的:県の農産物、地場産品を扱うことで地域経済の活性化の一助を担い、
県民のみならず観光客に県特産品を知ってもらう場を設けることで、
地域の活性化に繋げる。



来場者数

目標	実績	達成率	内訳
10,000	5,500	55%	12/20:2,300人、12/21:3,200人

雨にも関わらず、5,500人が来場！

各日100店舗が出店

今年はクリスマスがテーマ。県内の飲食店や雑貨店、
体験型ワークショップなどが出店。

地場産業の出店を誘致

昨年から設けている地場産品を紹介するエリアでは、
あけぼの大豆を使った食品や県産木材の器の販売、
西嶋和紙の紙漉きワークショップなどの出店を誘致。
マルシェを訪れる県内外の方が、山梨の魅力
を再発見できる機会とした。



美術館・文学館の周遊を目的としたスタンプラリーを実施 New



台紙配布: 494枚
コンプリート者数: 32人

マルシェ来場者へ向けた展覧会PR施策は今後も継続する。

5

3. サービス向上

ミュージアムアテンダント研修(12月)

目的:繁忙期のお客様対応を振り返ることによる
サービスの向上

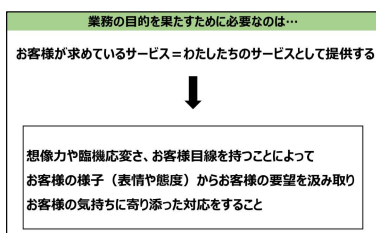
内容

- ・はじめに私たちの業務やその目的を全員で再確認した上で、実際に行なったお客様対応についてのディスカッションを行った。
- ・特に難しかった対応については今後の業務に活かせるよう全員で原因や解決策を考えた。

今後も研修を通して、お客様の鑑賞環境や作品の安全を守りながら、
同時にお客様の満足度を高められるサービスを行っていきけるよう、
想像力やお客様目線を大切にされた接客を目指していく。



研修の様子



研修資料の一部

貸館使用料のキャッシュレス決済導入(1月6日~)

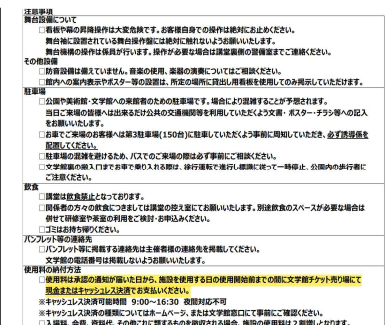
目的:施設使用者の利便性向上と業務効率化

内容

- 受付窓口でのキャッシュレス決済の運用を開始。
- 施設使用者には、承認通知と併せた事前告知を行った。
- ホームページ掲載や貸館案内資料への記載、申請受付時の案内等で周知し、利用を促進していく。
- 現金の取り扱いが減ることによる業務の効率化も狙う。



館内表示



貸館案内資料への記載

6

令和8年度も、今期の行動指針に沿った取り組みをおこないます。

行動指針

1. パブリックスペースを活用し

県民にとってのサードプレイス(居心地の良い場)をつくれます

2. 潜在顧客へ向けた広報活動により美術館・文学館の利用者を新規獲得します

3. 芸術の森をハブとし地域全体に回遊性を生むことで地域力の向上に貢献します

4. 関わる全ての人と作品にとって安全・安心な運営を行います